



# 年間事業報告書 「JUST DO IT」 ～とにかくチャレンジしよう～

# 2025

一般社団法人 高岡青年会議所



# ANNUAL REPORT

## 2025年度 事業報告書

### CONTENTS

理事長報告 .....	1
副理事長報告 .....	2
専務理事・室長報告 .....	4
直前理事長・監事報告・無所属理事報告 .....	6
2025 年度組織図 .....	8
55 周年実行特別委員会 .....	9
アカデミー特別委員会 .....	13
ひとづくり委員会 .....	17
まちづくり委員会 .....	21
涉外・広報委員会 .....	25
総務委員会 .....	29
新入会員紹介 .....	33
年間活動一覧 .....	34
活動写真 .....	35

# 理事長報



第55代理事長 **奈部 潤弥**  
(株)高岡製作所

2025年度、「JUST DO IT～とにかくチャレンジしよう～」というスローガンを掲げ、55代理事長として挑んだ一年は、仲間とともにチャレンジを重ね、未来に向けた価値を育んだ一年となりました。55周年の節目を迎えた本年、まちづくり事業、ひとづくり事業をはじめ、さまざまな活動を通して高岡青年会議所の本質と可能性を改めて感じた一年でもありました。

55周年事業では、55周年実行特別委員会が中心となり、55年の歩みを丁寧に紡ぎながら、「CREATIVE NEXT TAKAOKA」と4つの重点アクションをまちのビジョンとして発表しました。既存のものに捉われず、新たな価値や可能性を生み出し、次世代に向けて創造性あふれる高岡へ進化させていくという方向性は、さまざまなステークホルダーと共に解決していくなければならない課題を明確に示すものであり、これからまちづくりの指針として大きな意味を持つものでした。そして、この未来像を象徴的に体現した記念事業として「こどもまんなかフェス」を開催しました。子どもたちが未来への願いを書き込み、それをスカイランタンに託して夜空へ放つ光景は、参加者全員が未来への希望を共有する特別な瞬間となりました。数多くの光が夜空に広がっていく姿は、「次世代につなぐ想い」として周年の節目を印象深く彩りました。

まちづくり事業では、サーキュラーエコノミーを軸に、高岡らしい持続可能な仕組みづくりに挑戦しました。イオンモール高岡と富山大学との連携によるアルミ缶回収プロジェクトでは、市民参加型の循環の仕組みを実際に動かし、集めたアルミを成果物として形にすることで、高岡の産業力と市民の意識がつながる新たな価値創造モデルを示しました。地域の資源を循環させ、未来へつなげる取り組みは、今年度のまちづくりの象徴となりました。

ひとづくり事業では、高校生を対象にした学校訪問プログラムを実施し、生徒との対話を通じて、働く意義、挑戦することの大切さ、地域で生きることの価値を伝える機会を創出しました。また、メンバー自身が学び挑戦する機会も多く生まれ、組織全体の成長につながりました。

涉外広報委員会は、動画を活用した広報発信や県外ミッションに積極的に挑み、普段地元では得られない経験や視点に触れることで、新たな価値創造に努めてくれました。他地域との交流や学びを高岡に持ち帰り、組織に新しい刺激と可能性を生み出してくれたことに繋がりました。

また、総務委員会はまさに「組織の屋台骨」として、一年を通じて安定した運営を担ってくれました。理事会・総会の設営や議案整理、目には見えにくい部分を確実に積み上げたことで、全ての委員会が安心して事業に集中できました。

役職者として感じたことは、組織は一人では動かず、「委員会が動き、役職者が支え、メンバーが挑戦する」という循環が生まれたとき、本当に強くなるということでした。今年度、高岡JCにはその好循環が確かに存在していたと胸を張って言いたいです。一年間、各委員会が紡いだ努力と挑戦、その積み重ねが高岡青年会議所の成長そのものでした。共に歩んだ仲間全てに心から感謝申し上げます。



## 副理事長報告



副理事長兼拡大統括責任者

**岡林 実**

(株)ワールドサービス

本年度、拡大統括責任者として、30名の会員拡大という目標を掲げ、JC最後の年として全力で取り組んでまいりました。結果として、10名の新入会員と3名の賛助会員を迎えることができ、組織に新たな力を加えることができました。しかしながら、当初の目標には届かず、この点は真摯に受け止めなければならないと考えております。拡大活動を通じて痛感したことは、何よりも大事なのは「全員で拡大を行っていく」という雰囲気を組織全体に生み出すことの重要性でした。一部のメンバーだけが動くのではなく、メンバー全員が拡大を自分ごととして捉え、日常的に候補者に声をかけ、JCの魅力を伝えていく。そうした組織風土を醸成することが、持続的な拡大につながると実感しました。しかし、その雰囲気を十分に生み出すことができなかった点は、私自身の大きな反省点であります。来年度からは拡大が委員会として組織が設置されます。本年度の経験と反省を次年度にしっかりと引き継ぎ、組織全体に拡大の意識が根付く仕組みづくりを行うことで、全員で目標を達成していく組織文化を築いていただきたいと願っております。JC最後の年に貴重な経験と学びをいただいたことに、心から感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



副理事長兼特別委員長

**才高 勇人**

(株)才高

55周年実行特別委員会の特別委員長兼務として務めさせていただきました。創立55周年という節目の機会を活かし、昨年策定したまちのビジョンの実現に向けた最高のスタートを切れるよう活動してまいりました。この1年、周年事業の企画から実行まで、多くの貴重な経験をさせていただきました。周年を経験したことのないメンバーが大半を占める中、何のために周年をやるのか、如何にして人は当事者意識を持つに至るのか等、当日を迎えるまでに様々な不安やプレッシャーもありましたが、部会長やリーダーを中心に素晴らしいリーダーシップを發揮し、メンバー個々の能力を存分に引き出させていただいたおかげで、素晴らしい周年を創り上げることができたと感じています。皆様には本当に感謝しかありません。55周年は全メンバーが一丸となり、高岡JCとしての矜持を持つ良い機会になりましたが、実施して終わりではなく、これから如何に行動していくかが肝要です。周年を通じ成長したことを最大限に活かし、ビジョン実現に向け、これからも共にチャレンジしていきましょう。結びにこのような大役を任せていただいたこと、成長の機会を与えていただき、ありがとうございました。



## 副理事長報告



副理事長兼特別委員長

**棚田 遼太郎**

みろこ保険企画(株)

2025年度(一社)高岡青年会議所の副理事長、そして新入会員を受け入れるアカデミー特別委員長を務めさせていただきました。私自身、初の正副として戸惑うところもありましたが、役職者として特に強く感じたのは、組織が進むべき方向性を自分の頭を使ってしっかりとえることと、活動を支えるメンバー一人ひとりの行動が一体となる重要性です。新入会員育成の活動は、組織が成長する源泉を間近で感じができる感動的な機会となりました。新入会員が研修や実践を通して、主体的に行動し、周りを巻き込む確かなリーダーへと成長していく姿は、JC活動の大きな喜びでした。また、彼らを導く現役メンバーも、この育成の過程で自己の役割を深く見つめ直し、さらなる成長を遂げたものを感じています。組織の発展とは、まさに人の成長の連鎖にほかならないものであると考えます。メンバー全員が自らの意志で主体的に行動し、その力が組織全体に還元されることで強固な基盤が確立されたと実感しております。この貴重な経験を今後の活動に活かし、高岡の未来を担う組織として、さらなる発展のために尽力して参ります。1年間、発展と成長の機会をいただきありがとうございました。



副理事長兼室長

**西村 準一**

西村工業(株)

2025年度においては副理事長兼室長という立場で活動をさせていただきました。本年度は個人的に反省点という学びの多い1年となりました。よく言われていますが、メンバー全員時間が限られている中でのJC活動において、どのように計画・準備・行動する。そして振り返り検証をして次につなげる。この基本的な流れの大切さを改めて実感させられました。また、新任委員長においては、委員会運営や議案や事業をこなすことに精一杯になっており周りが見えづらくなると思います。場合によっては上役のより一步踏み出したサポートも必要な場面も多いと思いますし、その中においても一方的に伝わったと思わず根気よくコミュニケーションを続けることも重要であると感じました。2026年度においてはアカデミー特別委員長という重要な立場を任せていただいたので、これまでに学んだことを活かしながら与えられた役割を全うしたいと思います。1年間ありがとうございました。



## 専務理事・室長報告



専務理事  
**畠山 直聰**  
認定こども園こばと幼稚園

本年は、55周年という節目を迎え、専務理事として組織全体をまとめ、高岡JCをさらに前進させる1年となりました。「JUST DO IT～とにかくチャレンジしよう～」というスローガンのもと、私自身が何をチャレンジできたのかを振り返ると、メンバー一人ひとりの声を大切にしながら、個々の力を一つにまとめることに注力してまいりました。全ての事業に目を向け、全体を見渡しながら、遅れている部分をフォローし、組織の環境や仕組みを変えられる点は積極的に改善を図りました。専務という役職は、常にボールが飛んでくる立場であり、業務や外部との連絡調整はもちろん、組織全体の調整役として迅速な処理を心がけてまいりました。反省点としては、専務が前に出過ぎて、他のメンバーの活躍の機会を奪ってしまった場面もあったかもしれません。しかしながら、55周年という節目の年だからこそ、節があるからこそ、組織はより高く成長できると確信しております。この1年で培った一体感と行動力を礎に、高岡でさらなる存在感を示せる組織へと進化を続けてまいります。



室長  
**広上 直行**  
株広上製作所

今年度は、これまで以上に多くの経験を積むことができた一年でした。特に、関わる方々との意見の違いを丁寧に調整することや、意見交換を行うなかで、それそれが大切にしている価値観を共有し合う場面が多く、学びの機会が多かったと感じています。室長として委員会メンバーと向き合い、委員会の可能性を広げていくこと、また正副との方向性をすり合わせながら委員会として主体的に提案していくことの重要性を改めて実感しました。また、55周年記念事業では、祝賀会とランタン担当として内外の多くの関係者と関わり、日程調整や意見整理の難しさと向き合いながら、事業の完成度を高めるための調整力と責任感をより強く培うことができました。さらに、日本出向では総括幹事として全国各地のメンバーと接し、多様な価値観や考え方につれ、広い視野で物事を捉える大切さを学びました。多くの方々からいただいた助言や経験談は、自身の成長に大きな影響を与えてくれました。これらの学びは私にとって大きな財産であり、今後の活動の軸になると考えています。次年度以降は、今年度で得た知識や経験をLOMメンバーに伝え、組織全体の成長と活性化につながるよう、引き続き努力していきたいと思います。



## 室長報告



室長  
**菅原 啓介**  
㈱菅原工務店

2025年度は室長として高岡青年会議所に関わらせてもらいました。担当の委員会が渉外・広報委員会だったこともありメンバーの巻き込みを多く考えていた一年間だったと思います。担当の委員会はメンバーの出席率も非常に多く活気のある委員会で他の委員会の出席率が低いと聞くと合同委員会をして協力したり、ショート動画を各事業で作り高岡メンバーの周知を助けたりと十分に渉外・広報としての仕事をしてくれたと考えます。また、55周年事業では100%例会を目指して担当委員会メンバー一丸となって声掛けをしたが人を巻き込むことの難しさを改めて知る機会になりました。また、私自身も室長という立場で組織のスタッフであるという責任と自覚を持ちながら取り組んでいきました。なかなか至らない点もあったと思いますが、また次年度も同じような役職なので今年の反省点を活かして活動していきます。1年間ありがとうございました。



室長  
**古海 功**  
メットライフ生命保険(株)

2025年度は総務室長を務めさせていただきました。総務委員会を担当するにあたり、各種手続きや事務作業の細かな部分にも気を配りながら、組織全体が円滑に動くよう意識して取り組んできました。メンバーが作業しやすい環境づくりを第一に考え、こちらから一方的に指示するのではなく、求められたときに的確な意見を返すという、支える立場としての姿勢を大切にしました。また、財務にも関わらせていただいたことで、これまで触れる機会の少なかった分野を学ぶことができ、自身の成長に大きくつながった一年でもありました。委員会メンバー同士が互いに尊重し、調和を保ちながら活動できたことは、総務室長として嬉しく思います。この一年を通じ、組織を支える立場の責任とやりがいを強く実感しました。ともに活動してくださった皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 直前理事長・監事報告



直前理事長  
**米田 恵樹**  
ラック(株)

直前理事長の役割は、理事長の心の支えであると理解しています。理事長ならではの、葛藤や悩みを少しでも緩和してあげられる存在でありたいと思い、行動しました。そんな動機から、今年度は、直前理事長という立場で、正副会議、スタッフ会議へ参画させていただきました。理事長の時とは見える景色も違い、より客観的に、LOMへ向き合うことが出来たのではないかと思います。ある意味、理事長の言いにくいことも意見できたのではないかと考えます。ただ、本会の出向の都合上、すべての会議へ参画することが出来なかったこと、また、会議した事業や例会へ参加できなかったことは、残念に思います。直前理事長としては、可能な限り、会議、事業、例会へ参画し、LOMとの距離感を近づけつつ、客観的に寄り添ってあげられるよう、支援をしてあげてください。1年間、ありがとうございました。



外部監事  
**梅島 清香**  
高岡市議会

2025年度、外部監事としてお役目をいただき貴重で有意義な時間を共有させていただき心から感謝申し上げます。高岡青年会議所の運営をよりよいものとするため努めました。様々な役職を経験させていただいたからこそ見えること、外部の立場だから感じることを厳しい言葉だと感じる場面もあったかもしれません、例会や理事会の場でメンバーの気づきと成長を願い講評することを心がけてきました。また、正副が言いにくいことを代弁できればと向き合ってきました。私自身多くの気づきをいただきました。現役の皆様の成長や良い方向に変わってく姿を近くで見させていただき、頼もしく感じるとともにこれから高岡青年会議所の発展が期待できる1年になりました。これからも三信条を大切に、限られたJCライフで発展と成長の機会を掴みに行くことで自らを豊かにし、明るい豊かな社会の創造に貢献できるリーダーを生み出せる高岡青年会議所であることを願います。外部監事はとても難しいお役でしたが、卒業しても発展と成長の機会をいただいたことに心から感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



## 監事・無所属理事報告



外部監事  
**大庭 祐希**  
(株)大昇

昨年40歳を迎えたことで青年会議所を卒業いたしましたが、本年度は外部として監事の役職をお預かりいたしました。今まで受けた役職とは違い、外部の立場として現役の皆さんに言葉を通じて向き合ってきました。現役時代とはまた違った目線で、これからの中堅メンバーのためにと時には厳しいことも伝えるべきであると考え1年間活動を共にしてきました。また、多くの事業を通して現役メンバー成長を実感できたことで、これからの中堅青年会議所がますます発展することを確信することができました。今年度は55周年という貴重な節目の年に、卒業しても現役メンバーと程よい距離感で関われたこと本当に感謝しております。ありがとうございました。

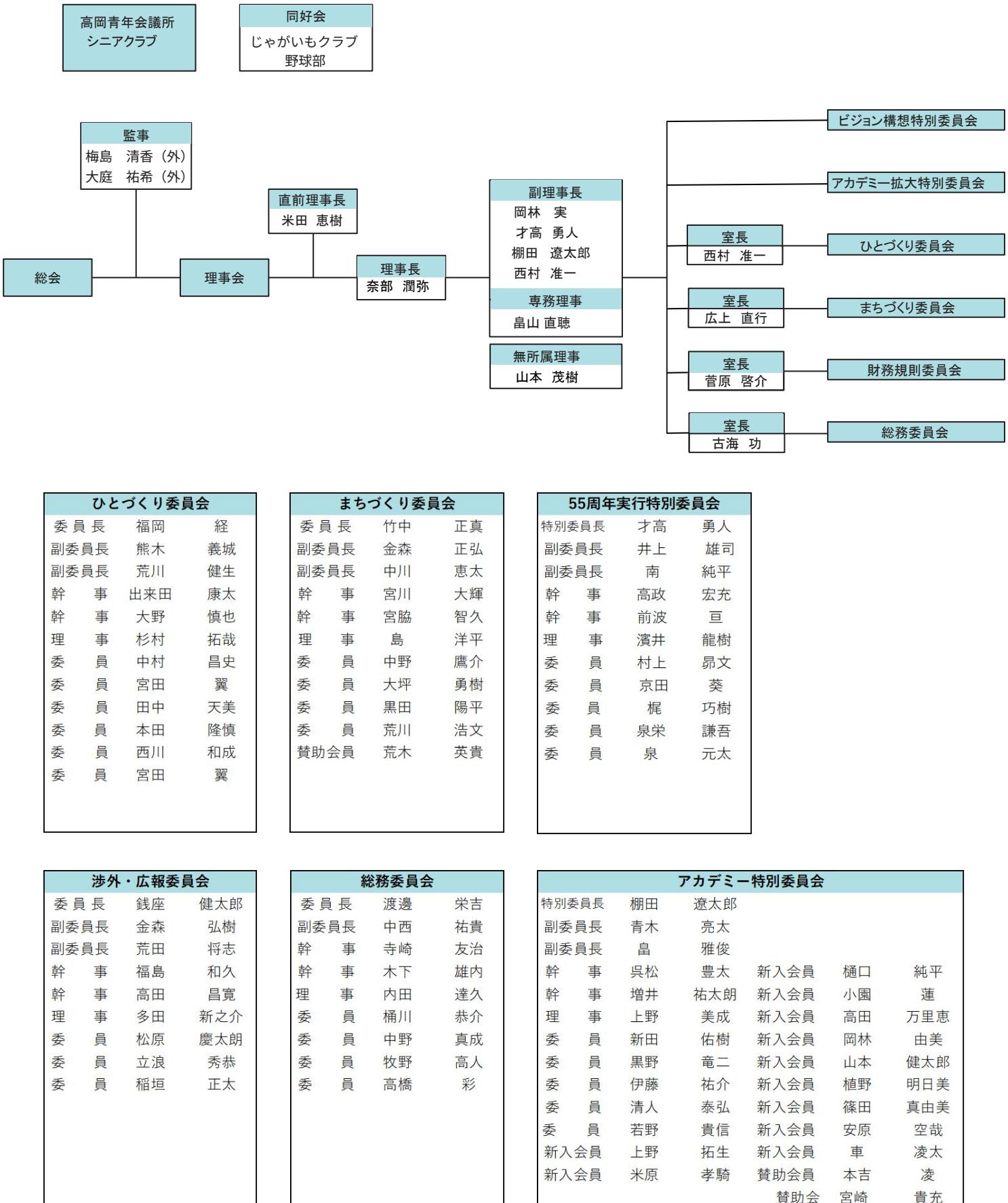


無所属理事  
**山本 茂樹**  
(有)中部地所

2025年度は理事として、改めて内側よりしっかりと誰のため、何のために事業を行うのかを問い合わせながら活動を行ってまいりました。多くの方のご協力いただき1年をやり遂げることができたと感謝しております。また私自身も多くの方に支えられてたことに感謝申し上げます。また、本年はじゃがいもクラブのキャプテンも担わせていただき、シニアと現役の架け橋となれるように、ゴルフを通しての交流を行ってまいりました。1年間ありがとうございました。



# 2025年度 組織図



# 55周年実行特別委員会



副理事長兼特別委員長

**才高 勇人**

(株)才高

本年度、当委員会では昨年策定したまちのビジョンがまちをより良くする装置として持続的に機能する状態にするべく、ビジョン実現に向けた好循環を生み出すことを目的として、1年間活動してまいりました。具体的には、創立55周年記念式典・記念祝賀会、創立55周年記念事業、ビジョン実現会議に取り組んでまいりました。

創立55周年記念式典では多くのご来賓の皆様の前でまちのビジョンを発表し、ステークホルダーの皆様とともにビジョン実現に向け行動していく決意を表明しました。

創立55周年記念事業ではまちのビジョンの重点アクション「安心できる子育て環境づくり」をテーマに、こどもをまんなかフェスやビジョンを叶えるスカイランタンを実施しました。1,500名以上の市民の皆様にご参加いただき、まちのビジョンを広く発信することができました。

ビジョン実現会議では、20名以上のステークホルダーの皆様とともに年4回の会議を行い、5ヶ年ロードマップを策定することができました。ご多忙の中、今回趣旨に賛同いただき、パートナーとして参画いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

ビジョン実現会議はとにかく熱量がすごく、楽しく、ワクワクするものであったと感じています。我々市民が力を合わせ、熱意を絶やさず行動していくことで、間違いなく高岡の未来は明るくなっていくと確信しました。策定したロードマップを活用し、来年以降も具体的なアクションが益々進んでいくことを切に願います。

最後に委員会メンバーに心から感謝いたします。年間を通じて多くのチャレンジがあり、大変だったと思いますが、その経験が大きな成長につながっていることを心より願います。1年間ありがとうございました。

## 「1年間の取り組み」

- ・ビジョン実現会議(3月～10月)
- ・創立55周年記念式典・記念祝賀会(5月)
- ・創立55周年記念事業(8月)
- ・ビジョンと創立55周年への意識高揚推進(年間)





副委員長  
理事  
**井上 雄司**  
井上機材(株)

花形である55周年実行特別委員会の副委員長に据えて頂きましたが、ご期待に沿えなかつたなど痛感しています。私事で出られない期間があり、多くのメンバーを巻き込む旗振り役である周年副委員長としてOMIに良い影響を与えられませんでした。今年感じたことを、次年度に活かしていきたいと思います。



副委員長  
**南 純平**

(株)高田

活動にはあまり出られませんでしたが、報告を通じてJCの成長を感じました。



幹事  
**高政 宏充**  
(株)たかまさ

55周年実行特別委員会の幹事として、多くの挑戦を重ねた一年でした。午後から夜に働く都合で皆さんと時間が合わないこともありますが、その都度柔軟に対応していただき本当に助けられました。来年は新たな組織で成長し、高岡JCとまちに貢献していきたいです。



幹事  
**前波 亘**  
(株)アイティリンク

今年度は周年委員会ということで、色々と関わらせていただきました機会があり、多くの頃を学ばせていただきました。半ば不完全燃焼の事もありますが、とても良い1年を高岡青年会議所から提供いただいたと感じます。ありがとうございました！！



理事  
**濱井 龍樹**  
What's Link(株)

出席は少なかったものの、JCの意義を改めて感じられた一年でした。



委員  
**村上 昂文**  
西養寺

本年度は自身の仕事や家庭の都合により、なかなか顔を出すことができず、会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。しかし、限られた参加の中でも、熱意ある議論や、地域に対する真摯な思いに触ることができ、その都度、多くの刺激と学びをいただきました。ありがとうございました。



委員  
**京田 美**  
(㈲)京田製作所

5月開催の創立55周年記念式典と記念祝賀会、8月開催の創立55周年記念事業を通して、沢山の方々に高岡JCのこれまでのあゆみや、まちのビジョンを共有することができたと思います。記念事業のPRにあたりメディアを活用したので、反省点も含めて次年度以降の活動に活かしたいと思います。



委員  
**梶 巧樹**  
合同会社SENSE  
Design Studio

55周年という節目の年に特別委員会として活動させていただき、多くの学びと気づきを得る一年となりました。周年事業を通じて高岡の歴史や魅力を改めて感じることができ、委員会メンバーとの協働も大きな財産となりました。ありがとうございました。



委員  
**泉栄 謙吾**  
(株)インサイト

ビジョン会議を通して、多くのステークホルダーの方と話す機会があり大変勉強になりました。



委員  
**泉 元太**  
G.I.商事(株)

今年度も忙しく中々、行事に参加出来ませんでしたが来年度は少しでも参加出来る部分は参加し色々な学びを出来ればと思います！

# 創立55周年記念式典・記念祝賀会

## 事業内容

創立55周年という節目を機に、これまでの歴史を振り返り、まちのビジョン実現に向けて行動していく決意表明をする場として、創立55周年記念式典並びに記念祝賀会を開催しました。多くのご来賓をお招きし、盛大に開催することができました。

### 【記念式典】

日時: 2025年5月31日(土)15:30~17:00  
場所: ウイングウイング高岡 4F大ホール



### 【記念祝賀会】

日時: 2025年5月31日(土)15:30~17:00  
場所: ホテルニューオータニ高岡 4F鳳凰の間

### 【記念誌】

高岡JC公式ホームページに掲載

## 検証・効果

来賓アンケートより「高岡JCが掲げたビジョンを理解できた」との回答を99%得られました。メンバーアンケートより「今後も誇りをもって運動活動に邁進しようと思った」という回答が96%得られ、事業目的は達成することができたと考えます。



# 創立55周年記念事業

## 事業内容

まちのビジョン実現に向けた新たな1歩を踏み出すため、具体的なアクションを起こし、より多くの市民の共感を生み出す必要があります。まちのビジョンが素晴らしいものだと感じていただくことを目的として、創立55周年記念事業を開催しました。

【記念事業 当日動画】

日時: 2025年8月30日(土)17:00~20:00  
場所: 高岡古城公園 本丸広場・射水神社



### ①ビジョンを叶えるスカイランタン

「こんなまちになってほしい」という個々の想い・ビジョンを書いてもらい、600基のスカイランタンを夜空に打ち上げました。約2,000名の市民の皆様に参加いただき、まちのビジョンに向かって行動を起こしていくことで、素敵な未来が実現できることを体感いただきました。

### ②こどもをまんなかフェス

まちのビジョンの重点アクションの1つ「安心できる子育て環境づくり」をテーマに、ハイハイレースや手作りおもちゃ体験、古着交換会や射的・輪投げなど、様々な企画を用意し、子育て世代を中心とした多くの市民の皆様にご参加いただきました。



## 検証・効果

参加者アンケートより「まちのビジョンが素晴らしいものだと感じた」との回答が703名、99%得られました。記述回答からも、ビジョンを実現するために積極的に行動していきたい旨の回答が多く得られたため、事業目的は達成できたと考えます。

# ビジョン実現会議

## 事業内容

昨年、様々なステークホルダーの皆様とともにまちのビジョンを策定しました。しかしながら、具体的なアクションまで定まっていない現状がありました。ビジョン実現に向けた具体的なアクションを進めるために新たなステークホルダーも巻き込みながら、会議体を設置し、年4回の会議を実施。5ヶ年アクションプランと1年目のアクションの検証を実施することができました。

### □第1回ビジョン実現会議(3月14日)

- ・ビジョン実現会議の趣旨説明
- ・ステークホルダーとJCメンバーにて教育・挑戦・子育て・観光の4つのチームを結成
- ・5年後のまちのありたい姿を定量的に図るために言語化を実施

### □第2回ビジョン実現会議(6月20日)

- ・5年後のあるべき姿からバックキャスティングでアクションプランを決定
- ・それぞれのアクションに対し、KPI/KGIをチームごとに打合せ
- ・各チームの取り組みについてシェア

### □第3回ビジョン実現会議(8月5日)

- ・初年度のアクションについてチームごとに打合せ
- ・どのようなパートナーとタッグを組んでいくか調査
- ・いつ、誰が、どのようにアクションをとっていくのかを決定

### □第4回ビジョン実現会議(10月31日)

- ・チームごとに完成した5ヶ年ロードマップの発表
- ・初年度のアクションの成果発表と検証
- ・次年度への引継ぎ



【5ヶ年ロードマップ】

## 検証・効果

参加者アンケートより、「アクションプランの内容に共感し、具体的に行動および検証できるものになっていると思った」という回答が94%得られ、「これからもビジョンに向けて行動していきたい」という回答が94%得られたことから、事業目的は達成できたと考えます。特に観光と子育てのチームは具体的なアクションが自走で進んでおり、まちのビジョンを活用し、より良いまちづくりに向けて行動を起こす良い事例になったと考えます。



## アカデミー特別委員会



副理事長兼特別委員長

**棚田 遼太郎**

みろこ保険企画(株)

本年度当委員会は、組織の新陳代謝を活性化することを目的として、教育と共育の場を創出し、理事の資質向上に向けた取り組み、そして12月度例会に至るまでJC運動活動を展開してきました。

教育と共育の場を創出することにおいては、リーダーシップの開発と成長の機会を提供するために、オープン委員会を2月と3月に行い、4月度例会を開催いたしました。2カ月に渡り開催させていただいたオープン委員会では、青年会議所で学ぶことのできる議案の作成そして考え方について山本茂樹理事を講師としてお呼びし、議案構築セミナーを開催させていただきました。また4月度例会には富山JCのシニアである高平公輔様を講師としてお招きし、共に学びを育める機会となりました。

理事の資質向上に向けた取り組みとしては、理事職としてロールモデルの役割を果たすことができるようになるために、1月にオープン委員会として、公益社団法人日本青年会議所から岩本泰典トレーナーをお呼びし、ロバート議事法について学び、模擬理事会を開催することで理事のメンバーへの資質の向上を図りました。

当初は私にアカ長が務まるものであろうかと不安でしたが委員会メンバーのお陰でその不安も払拭することができ、遂に12月度例会まで開催できる運びとなりました。委員会メンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。新入会員も各々リーダーシップを發揮し、12月度例会のために議案を構築し、準備している姿はとても頼もしく、胸が熱くなりました。委員会メンバーにどこまで成長の機会を与えられたのかは分かりませんが、この委員会での経験が次のチャレンジへと繋がることを願っております。1年間本当にありがとうございました。

### 「1年間の取り組み」

- ・1月度オープン委員会(1月)  
(ロバート議事法)
- ・2月度オープン委員会(2月)  
(議案構築セミナー基礎編)
- ・3月度オープン委員会(3月)  
(議案構築セミナー応用編)
- ・4月度例会(4月)
- ・創立55周年記念式典(5月)
- ・12月度例会の開催(12月)





副委員長  
理事  
**青木 亮太**  
スケッチ(株)

アカデミー特別委員会として新入会員との関わりに力を入れました！



副委員長  
**畠 雅俊**  
(有)畠石油店

今年はアカデミー特別委員会に所属しました。関わって下さった方々、大変ありがとうございました。



幹事  
**吳松 豊太**  
(株)吳松 アートコ  
ムウッド

今年は昨年に続いてアカデミー委員会で活動し、新入会員を受け入れる中で皆さんに少しずつ馴染んでいく姿を見るのが嬉しく思いました。自分自身も改めて学び直せる機会が多く、来年はもっと誰かの力になれるように活動していきたいと思います。



幹事  
**増井 祐太朗**  
(株)古城モータース

今年はあまり参加できない一年となりましたが、参加した際に、関わっていただいた皆さんには感謝しています。次年度はなるべく、活動に力を入れていきます。



理事  
**上野 美成**  
(有)レブタイル

アカデミー特別委員会のメンバーとして活動させていただきました。新入会員さんと頑張りや成長を間近で見させてもらい、初心にかえり自分自身もまだ学ぶ事が沢山あるな、と感じました。  
1年間ありがとうございました！



委員  
**新田 佑樹**  
(有)高岡クリーン環境

サマコンで担当をさせて頂きました、今までではお客様として参加する姿勢でしたが今回設えを行ってみて、出欠、登録費用、ホテルの段取りと行うことが沢山あり、大変さを実感しました。新入会員の担当では、とにかく連絡を密に取り関わる事を意識して行いました。  
1年間ありがとうございました。



委員  
**黒野 竜二**  
RKKトレーディング

今年は社業と両立がなかなかに難しく、あまりJC活動に参加できず、委員会メンバー支えて頂くことが多くありました。こうした年の経験も踏まえて、今後のJC活動に活かしていきたいと思います。



委員  
**伊東 佑介**  
(株)エーティーワークス

アカデミー特別委員会としてメンバー拡大について考えさせられる1年でした。  
新入会員など様々なつながりができ良かったです。これからも会員拡大を頑張りたいと思います。



委員  
**清都 泰弘**  
(有)清都酒造場

今年度はブロックでの活動に最も多くの時間と労力を費やし、JCに、主体的、かつ本気になることができた年であった。  
本気で取り組んだ分、人にも自分にも本気で向き合うことができた。自分一人ではここまで主体的に向き合うことはできなかつた。出会うことのできた仲間たちに感謝したい。



委員  
**若野 貴信**  
(株)若野鋳造所

アカデミー特別委員会の一員として、一年を通して貴重な経験をさせていただきました。今後に繋がる良い刺激を頂きましたので、来年度も自身が成長することで組織に貢献できるよう、取り組んで参ります。

# 1月度オープン委員会

## 事業内容

理事職としてロールモデルの役割を果たすことができるようになるために、理事職に対する研修活動を実施することで、理事メンバー一人ひとりの資質向上を目指していきました。本会のプログラムを活用し、トレーナーに教わることで、より理解度が深まるものとなりました。

日時: 2025年1月27日(月)  
18:30~21:00  
場所: 高岡商工ビル 2F 大ホール

取り組み  
「ロバート議事法」「模擬理事会」

講師  
公益社団法人日本青年会議所  
岩本 泰典 トレーナー



## 検証・効果

効果的な会議の進め方だけではなく、基本となる4つの権利や4つの原則を学ぶことで、意思決定のための会議方であることを理解し、理事会を運営する土台となりました。

# 2月度オープン委員会・3月度オープン委員会

## 事業内容

2月度オープン委員会 2月24日(月)

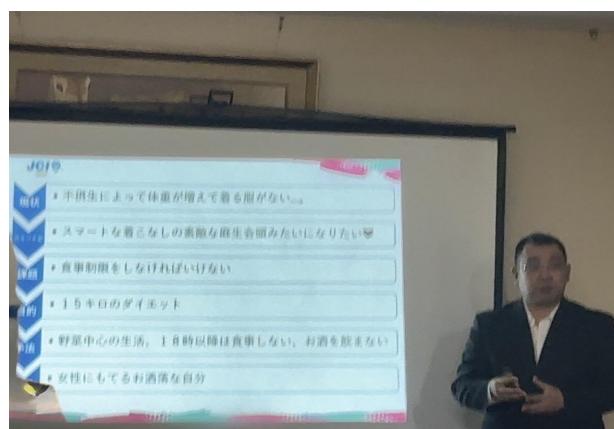
「議案構築セミナー基礎編」  
講師: 山本 茂樹 理事

3月度オープン委員会 3月26日(水)

「議案構築セミナー応用編」  
講師: 山本 茂樹 理事

## 検証・効果

議案作成だけではなく、議案構築における基本的な考え方を山本理事からメンバーが学べることにより、青年会議所運動活動の基礎を築くことに繋がりました。そして、その学びは 26年度の新米の委員長や新米の理事にも活かされています。



# 4月度例会 リーダーとしての成長

## 事業内容

本例会では「リーダーとしての成長」をテーマに新栄建設株式会社代表取締役高平公輔先輩を講師としてお呼びさせていただきました。そして、最高のリーダー育成機関である青年会議所の本質から青年会議所運動活動を通しての学びについて、さらには青年会議所での経験が地域社会にもたらすインパクトについてご講演をいただきました。

### 「4月度例会 リーダーとしての成長」

日時: 2025年4月1日(火)

場所: 高岡商工ビル 802, 803

講師: 高平公輔先輩(富山JCシニア)

## 検証・効果

青年会議所活動の意義を再確認し、今後の活動に対するモチベーション向上が期待されるものとなり、地域社会に対しても持続的にリーダーの育成を行っている団体であることを改めて示す機会となつたものであると考えられます。参加いただいたメンバーの 97.5%がアンケートから JAYCEEとして地域社会のために貢献していく必要性があると回答をいただいているだけではなく、これからの行動に関してもポジティブな記載をいただいていることからもメンバーが地域社会を先導していく JAYCEEとしての気概が高まつたと考えられ、今後、地域社会に対しても地域を先導するリーダーが増えることにより、明るい豊かな社会の創造にもつながるものであると考えられます。



# ひとづくり委員会



委員長  
**福岡 経**  
高岡家守(株)

本年度、ひとづくり委員会では、地域の企業が次世代を担う若者の視点に触れ、時代の求める企業に進化していくこと、そして若者が高岡に愛着を持ち、主体的に将来設計ができる人財となることを目的とし、年間のひとづくり事業と例会の2つの活動を行いました。

ひとづくり事業(地域の大人が生み出すキャリア教育授業「学校訪問プログラム」)では、高校生が自らの将来像を表現できるようになること、参加企業が自らのさらなる夢を考え、行動に移すことを目的としました。本年度も高岡龍谷高校2年生を対象に、計4回の出前授業を開催。地域の企業人との座談会などのプログラムを通し、最終授業では参加生徒全員に「5年後の将来像」を発表していただきました。高校生にとっては自らの将来を主体的に考え、表現する機会になったのではないかと考えます。また、参加企業やJCメンバーにも、改めて自身の生き立ちや価値観について考えてもらい、さらなる夢を考える機会となるように取り組みました。

10月度オープン例会「若者に選ばれる魅力的な職場とは」は、双方向コミュニケーションの重要性を理解することを目的に開催しました。講師として合同会社ハピオブの島田勝彰氏をお招きし、講演・ワークの2部構成で行いました。職場の雰囲気づくりに必要な双方向コミュニケーションの重要性を理解し、ワークを通して明日から行動できることを考える機会になったと思います。

一方、私自身のリーダーシップ不足で、事業や例会の参加企業を多く募ることができなかったこと、運営面で不手際があったことなど、多くの反省点を残してしまいました。高岡青年会議所が生み出したキャリア教育授業が、今後より地域に根差した事業へと成長していくためには、リーダーの巻き込み力が必要です。次年度は、今年度できなかった分の地域への巻き込みに取り組んでいただけた幸いです。

当委員会活動を支えていただいた地域の皆様、このような私を支えていただいた委員会メンバーの皆様、高岡JCメンバーの皆様、一年間本当にありがとうございました。

## 「1年間の取り組み」

- ・ひとづくり事業 学校訪問プログラム(6・7・9・10月)
- ・わんぱく相撲高岡場所・富山ブロック大会(6月)
- ・地区フォーラム in 射水の参加促進(6月)
- ・10月度オープン例会「若者に選ばれる魅力的な職場とは」(10月)





副委員長  
理事  
**熊木 義城**  
高岡市議会

学校訪問プログラムをはじめ、ひとつくり委員会の活動に取り組みました。高校生たちの若い感覚や将来への期待、希望に触れ、自分自身にも良い刺激となりました。



幹事  
**出来田 康太**  
(株)サンコービン店

学校訪問楽しんで行うことができた。最終回参加できなかったが、自分の後悔からくる経験など伝えられだだと思います。相手が高校生のもう少し目線を合わせた話し方が課題だと感じた。例会設えが今年一番悪い委員会だったと感じた。幹事としてやるべきことをもっとすべきだったと感じます。



理事  
**杉村 拓哉**  
(株)Y-S工業

学校訪問プログラムの意義やポテンシャル、楽しさを伝え広げていくための座組・企画立案にガツツリ向き合わせて頂き、今ではライフワークと考えています。1年間企画にご協力頂きました全ての方に感謝します。ありがとうございました！！



委員  
**宮田 翼**  
株古城モーター  
ス

参加はあまりできませんでしたが、事業を通して経験できたことは自分自身にプラスになったことが多かったです。今後も成長できるよう頑張っていきます。



委員  
**本田 隆慎**  
本田総合法律事務所

長い長い眠りから醒めかけたところで卒業となりました。シニアになってもよろしくお願ひします。



副委員長  
**荒川 健生**  
(株)M&Aウェルビーニング

今年度は副委員長と日本出向を経験させて頂きました。高岡青年会議所や自身の事業を外から見る機会を頂き、学びの多い大変充実した1年でした。とにかくチャレンジしようのスローガンのもと、挑戦できた年だったと感じております。この経験、取り組みを次年度以降に活かして磨きをかけていきたいです。



幹事  
**大野 慎也**  
富山新聞社

持続可能な高岡を創造するための若い力をひしひしと感じています。講演などを通じて多くの学びがあるほか、会員同士の横のつながりの強さは貴重な財産になります。主催イベント、各種行事になかなか参加できず申し訳ない気持ちでいっぱいです。高岡の発展に微力ながら貢献したいです。



委員  
**中村 昌史**  
BAR CHILOUT

仕事が飲食ということで、なかなか事業に参加することはできませんでしたが、できる限りの参加はできたと思います。ありがとうございました。



委員  
**田中 天美**  
射水神社

参加回数は多くありませんでしたが、参加した場面では全力で取り組みました。少しでも委員会の力になれるよう、できる限り動いた一年でした。



委員  
**西川 和成**  
(株)坂本組

なかなか参加できませんでしたが、皆さんの活動から多くの刺激をいただきました。

# ひとづくり事業 学校訪問プログラム

## 事業内容

2023年度から実施している「地域の大人が生み出すキャリア教育授業」を、今年度も実施しました。今年度は、高校生が自らの将来像を表現できるようになること、参加企業が自らのさらなる夢を考え、行動に移すことを目的としました。過去2年に引き続き、高岡龍谷高校 2年生クリエイトコース 3クラス+調理科 1クラスを対象に、実施しました。

### 【今年度の改善点】

- ・これまで地域の大人による講義形式がメインでしたが、今回は地域の大人とより身近に対話ができる座談会形式を導入しました
- ・全員が自らの将来像を表現できるよう、最終授業では、「5年後の将来像」発表会を行いました
- ・これまで高岡JCメンバーが中心になって参加していましたが、今回は地域の企業や団体(高岡警察署、自衛隊、高岡YEG等)にも参加していただきました

### 【学校訪問プログラム】

授業①ガイダンス「自分の将来を自分事に」

開催日: 2025年6月18日(水)

内容: この授業を受けるにあたってのガイダンスを行いました。高校生たちが将来に向け、自分がどのような人生を歩み、どのように自己実現を果たしていきたいのか。まずは「自分を知ること」からスタートしました。

授業②「選択肢を増やす① 社会を知る座談会」

開催日: 2025年7月16日(水)

内容: 将来設計において選択肢を増やすための回。

地域で活躍する企業の皆様と座談会形式で交流を深めました。



授業③「選択肢を増やす② 社会を知る座談会」

開催日: 2025年9月17日(水)

内容: 授業③と同様の内容を行います。

授業④「5年後の将来像発表会」

開催日: 2025年10月29日(水)

内容: これまでの授業を踏まえて、現時点で思い描く「5年後の将来像」を発表してもらいました。



### 【講師育成プログラム】

企業・JCメンバー向けの講師育成プログラムを計 3回開催しました。

プログラム① 2025年5月13日(火)19:00~20:45

ガイダンス「なぜこの授業を行うのか」・自分を知るワークシート作成

プログラム② 2025年7月8日(火)19:00~20:45

講義「印象に残る自己紹介」・模擬座談会①

プログラム③ 2025年9月5日(金)19:00~20:45

模擬座談会②



## 検証・効果

高校生に対する授業終了後アンケート(104件の回答)にて、「自らの将来像を表現できるようになった・少しなった」との回答が92.4%、「将来に向けた具体的行動を考えるようになった・少しなった」との回答が90.4%でした。

また、「大人との交流を通して地域の魅力を感じることができた・少しできた」との回答が 86.5%でした。

# 10月度オープン例会

## 事業内容

10月度オープン例会「若者に選ばれる魅力的な職場とは」は、双方向コミュニケーションの重要性を理解することを目的に開催しました。講師として合同会社ハピオブの島田勝彰氏をお招きし、講演・ワークの2部構成で行いました。講演では、職場の雰囲気づくりに必要な双方向コミュニケーションの重要性を理解し、ワークでは講演内容を踏まえて「明日から行動できること」を考えていただく機会としました。

日時：2025年10月7日(火)18:30～20:45

場所：高岡商工ビル2階大ホール

講師：合同会社ハピオブ 島田 勝彰 氏

テーマ：「若者に選ばれる魅力的な職場とは」

## 検証・効果

参加者のアンケート(67件の回答)にて、「所属組織の双方向コミュニケーションを活性化させたいと感じた」との回答が98.5%でした。



# わんぱく相撲高岡場所・富山ブロック大会

## 事業内容

大会を通して、夢や目標に向かって諦めない心を育むことを目的に、「第22回わんぱく相撲高岡場所・第6回わんぱく相撲女子高岡場所」を開催しました。また、高岡の地では9年ぶりに、「第32回わんぱく相撲富山ブロック大会」を開催しました。

「第22回わんぱく相撲高岡場所」

「第6回わんぱく相撲女子高岡場所」

日時：2025年6月8日(日)

場所：高岡古城公園相撲場

共催：高岡市相撲連盟



「第32回わんぱく相撲富山ブロック大会」

日時：2025年6月22日(日)

場所：高岡古城公園相撲場

共催：(公社)日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会

## 検証・効果

大会出場者のアンケートにて、「諦めずに努力することが大切だと感じた感じた」との回答が50%でした。

# まちづくり委員会



委員長  
**竹中 正真**  
株竹中製作所

当委員会では高岡市が持つ「アルミのまち」という特性を活かし、地域資源を循環させる仕組みの構築に取り組みました。狙いは、市民の能動的な行動を促進し、資源循環に関する理解と実践を広めることで、地域の新たなビジネスや生活スタイルの変革のきっかけをつくることでした。

3月度例会を皮切りに、富山大学先進アルミニウム国際研究センターや高岡市、地元企業、小学校など多様な関係者と連携し、官民学が一体となって事業を展開しました。イオンモール高岡や野村小学校を会場としたアルミ缶の回収・再生プロジェクトでは、多くの市民・児童が参加し、リサイクルのプロセスを実体験してもらうことができました。また、5件のモデル商品・サービスの創出を達成し、地域資源を活用した循環型ビジネスの可能性を具体的に示すことができました。

サーキュラーエコノミーは単なるリサイクルや環境配慮の高度化に留まらず、人や組織がつながり、新たな価値の循環が生まれ続ける状態こそが本質です。当初は多様な素材分野での展開を構想していましたが、地域の強みであるアルミに絞ったことで、深く本質的な循環モデルを形にできたと実感しています。特に、トイレサインがイオンモール館内に常設展示され、ジェンガやモルックが今後も啓発活動で活用されるなど、「作って終わり」ではなく「息づく循環」として次年度以降にもつながる価値を生み出せたことは、本年度の大きな成果です。

そして何より、産学官民がそれぞれの立場を超えて連携し、互いの強みを持ち寄りながら「つながり続ける循環」を体感できたことが、この活動における最も本質的な意義であり、今後の地域循環の基盤づくりにも大きく寄与すると考えています。ご協力いただいた全ての皆様に、そして一年間共に走り抜けて下さった委員会メンバーに心より感謝申し上げます。

## 「1年間の取り組み」

- ・まちづくり事業の推進(2月～10月)
- ・3月度例会の実施(3月)
- ・55周年記念事業の実施(5月)
- ・富山ブロック大会への参加推進(9月)
- ・まちづくり事業(9月)の実施(9月)
- ・全国大会(佐賀)への参加推進(10月)





副委員長  
理事

金森 正弘

タバタ電設(株)

初の事業系委員会に配属され、自信の行動に変化があるのか期待していましたが、核の部分での参加ができなく少し後悔はあります。ですが、竹中委員長と同じ委員会になれたおかげで、たくさん学ぶことができました！正直ありがとうございます！

金森 正弘

タバタ電設(株)



幹事  
宮川 大輝  
(株)北二

今年度は出向とまちづくり事業にチャレンジさせていただき、自分の能力不足を痛感させられる1年だったと感じております。の中でも、まちづくり事業につきましては委員会メンバーが一丸となって取り組み、事業を行う難しさを学ぶことができたと思います。

宮川 大輝

(株)北二



理事  
島 洋平  
(株)古城モーター  
ス

楽しく委員会を過ごすことが出来ました。理事としてはあまりにも役立たずで申し訳ない気持ちですが、これも糧としてこれからも頑張ります！

島 洋平

(株)古城モーター

ス



委員  
大坪 勇樹  
(株)YSB

まちづくり委員として1年間活動してきましたが、今後の未来に必要なサーキュラーエコノミーに対して深く知る機会でした、今回の年だけではなく今後も何かしらの形で携わりたいと思います。毎年学びと成長の機会があるので、来年も楽しめます。

大坪 勇樹

(株)YSB



委員  
荒川 浩文  
(株)北日本新聞社

活動に参加することはできませんでしたが、来年以降参加できるように頑張っていきます。



副委員長  
中川 恵太  
(有)太閤堂工芸社

今年は今までで最も活動した一年となりました。真剣に取り組んだからこそ、委員会メンバーが一丸となって事業を創り上げていく達成感と一体感を強く感じました。今年の経験を今後に活かしていきたいです。



幹事  
宮脇 智久  
(有)清香園

サーキュラーエコノミー実現の起点づくりを目指し、多様なパートナーと連携しながら、委員会メンバーと協力しながら、様々な取り組みを実施し、多くの事業者様、市民の皆様を巻き込んだ運動が出来ました。何よりも楽しく活動できた1年間でした。ありがとうございました。



委員  
中野 鷹介  
(株)中野エンジニア  
リング

本当に楽しい1年でした！まちづくり事業での委員会のメンバーや色々な業界の方との活動や、出向での他LOMの方との活動で大変充実していました！



委員  
黒田 陽平  
(株)コートせいでん

活動にあまり参加できませんでしたが、委員会の皆さんに感謝しています。



賛助会員  
荒木 英貴  
(有)三栄商事

あまり参加できませんでしたが、参加させていただいた際は多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

## 3月度例会

### 事業内容

自らが率先してサーキュラーエコノミーを推進していく意識を高めることを目的として、講師講演並びにグループワークを実施しました。

講演においてはごみの歴史をひも解き、現代社会の課題と未来の姿としてのサーキュラーエコノミーについて順序立ててお話をいただきました。グループワークにおいては今回の例会のために作成したカードゲームを用いて、素材と循環を掛け合わせて地域課題の解決法を考えるワークショップを実施しました。

日 時: 2025年3月4日(火)18:30~20:45

場 所: 高岡商工ビル 2階大ホール

講 師: 株式会社ごみの学校 寺井 正幸氏

テマ: 『ぐるぐる巡る、持続可能な未来づくり』

### 検証・効果

「サーキュラーエコノミー実現に向けて率先して取り組んでいかなければいけないと感じた」と参加者の88%が回答しました。(42名中37名)



## まちづくり事業(年間推進事業・9月度例会)

### 事業内容

地域経済の成長と環境保護を両立させるアプローチとしてサーキュラーエコノミーの概念が広まっている中で、高岡市は2023年に脱炭素先行地域に指定され、先進的な取り組みの広がりにより地域の活性化につながることが期待されています。しかし具体的な取り組みが進んでいるとは言えないという問題に対し、その原因として多くの市民が自身の行動により社会や環境に与える影響を意識できていないことを課題として捉えました。地域にサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みの起点を生み出すことを目的に設定し、複数の事業を展開しました。



アルミ缶回収事業(6月~9月にイオンモール高岡、野村小学校で実施)

# まちづくり事業(年間推進事業・9月度例会)

## 事業内容

### ・アルミ缶再生プロジェクトの実施

多くの市民にとって身近な再生資源であるアルミ缶を題材として、回収 →再生の2ステップを体感できる機会を創出します。アルミ缶を用いたモデル商品が創出されるだけでなく、過程に関わった市民が資源循環を実例を通して感じることができ、循環リテラシーの向上につながります。

### ・成果物展示・体験ブース「アルミ缶が大変身！～使い終わったその先へ～」

集まったアルミ缶から創出した成果物を展示しました。アルミ缶回収に協力してくれた方には、特典として再生アルミ製キーホルダーが当たるガチャガチャを用意しました。当日もアルミ缶の回収を実施することで、イベント当日の飛び入り参加も可能にしました。回収された資源がどのように循環し、新たな製品として生まれ変わるかを実際に見ていただき、資源循環の流れを実感していただきました。

### ・フォーラム「つなぐ・めぐる・つくりかえる～サーキュラーエコノミーの今とこれから～」

農業、ものづくり、地域経済など多様な分野でサーキュラーエコノミーの実践に取り組むゲストを招き、それぞれの活動紹介と、クロストークによる意見交換、またオープンチャットを用いたワークショップを通じて、「循環をどう価値に変え、事業に取り入れるか」をフォーラム会場の全員で考える機会となりました。具体的な事例や工夫から、自社にも応用できる視点やヒントを得ることができ、循環型ビジネスに挑戦するきっかけを作ることができました。

また、講演後、イオンモール高岡の来年のリニューアルにあわせ、再生アルミから製作したトイレスインのお披露目を行いました。



## 検証・効果

アルミ缶回収事業に延べ 300人超に参加いただき、約 2,500本を超えるアルミ缶を回収することができました。成果物を複数の手法で発信し、500名を超える市民の方に体感いただくことができました。



再生アルミの成果物を体感する地域の皆さん

# 渉外・広報委員会



委員長  
**錢座 健太朗**  
錢座瓦店

本年度、当委員会は渉外事業と広報活動の運営を担当し、対内・対外においてメンバー自身が高岡JCの魅力を語れる人財となることを目的に活動してまいりました。

渉外事業においては、メンバーと顔を合わせた際には必ず「渉外事業に参加してみませんか」と声を掛け続けました。コロナ禍を経てDX化・効率化が進む時代ではありますが、当委員会はDXを活用しつつも、あくまでも“対面での参加促進”を重視し、継続して誘導を行ってまいりました。その結果、多くのメンバーが渉外事業に参加し、メンバー同士の絆がより深まつたと感じております。

広報活動では、対外広報として従来通りSNSでの発信を継続する一方、対内広報では事業参加を促すため、対内限定のショート動画を制作・発信いたしました。この動画には役員のみならず多くのメンバーにも出演いただき、堅苦しい案内文だけでは伝わりにくい事業の魅力を、楽しさを交えて届けることができたと考えております。

渉外事業の参加促進から設え、動画撮影・編集・企画、さらにはSNSでの対外発信まで、積極的に協力してくれた委員会メンバーには心より感謝申し上げます。

この1年間、楽しいことも辛いこともありましたが、担当専務理事、室長、そして委員会メンバーと共に歩んだ時間は、私にとってかけがえのない財産です。

1年間、本当にありがとうございました。

## 「1年間の取り組み」

- ・年間を通して渉外事業の参加促進および広報の実施（1月～12月）
- ・大邱壽城青年会議所との交流事業の実施（5月、9月）
- ・例会の開催（2月、11月）





副委員長  
理事  
**金森 弘樹**  
株式会社金七金物店

委員会の結束力は強く、互いに支え合いながら楽しく挑戦し続けた一年でした。事業ごとに役割を果たし、多くの思い出と成果を残し、委員会としても個々としても大きく成長できたと実感しています



副委員長  
**荒田 将志**  
国沢アルミ合金株

社業や家庭の環境に変化があり、JCでの事業や活動に対して、納得のいく関わり方ができませんでした。ですが、銭座委員長率いるメンバーが温かく受け入れて声掛けしてくれる雰囲気のおかげで、その中でも楽しく参加することができました。財産となる経験をありがとうございました。そして短い間でしたが、お世話になりました。



幹事  
**高田 昌寛**  
高田会計事務所

当委員会での渉外活動や全体事業を通じて、多くの方々と関わる機会に恵まれ、自己成長を実感できた一年となりました。本年をもって卒業となります。青年会議所で得た出会いと学びを糧に、今後も地域社会の発展に貢献していきたいと思います。ありがとうございました。



幹事  
**福島 和久**  
和光フォーカリフ  
ト株

出向や渉外・広報事業を通じ、多くの学びと視野の広がりを実感した一年でした。得た経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。



理事  
**多田 新之介**  
多田薬品工業株

4年間という短いJC活動の集大成として、今年度最後の当委員会で大変うれしく思います。渉外事業では、県内外で多くのLOMメンバーと共に、活動できたこと、広報ではショート動画という新たなツールを導入し、メンバーの参加意欲を高められたことはとても良かったと感じております。



委員  
**松原 慶太朗**  
jaばる

委員会運営を通じて多くの学びと気づきを得る一年となりました。関係各位の支えにより事業を無事遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。



委員  
**立浪 秀恭**  
立浪歯科医院

広報と渉外の両面で学びと共有の場を設え、委員会一丸となって事業を進められました。多くのご協力に感謝申し上げます。



委員  
**稻垣 正太**  
千龍商店

一年を通して事業に取り組む中で、委員会としての結束と成長を実感しました。これまでの経験を来年度以降の活動にしっかりと活かしていきたいと思います。

## 2月度例会

### 事業内容

本例会は、メンバーに「好きから学ぶ広報の本質」を理解してもらうことを目的として開催しました。講師に県内インフルエンサーの津田なゆこ氏をお招きし、講演・個人ワーク・グループワークの三部構成で実施しました。講演では「好き」を起点とした広報活動の展開について学び、ワークでは Canva を用いて発信物の制作に取り組むことで、広報への理解を深める内容としました。

日時: 2025年2月4日(火)18:30～21:00

場所: 高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」



#### ① 広報における「好き」の重要性を学ぶ

「好きから学ぶ広報の本質」を理解することを目的に例会を開催し、講師・津田なゆこ氏より「好き」を起点とした広報活動の展開について事例を交えて学びました。

#### ② 実践的ワークの実施

Canva を活用した個人ワーク・グループワークにより、自身の「好き」を発信物として表現する体験を通して、広報への実践的理を深めました。

### 検証・効果

アンケートでは、「自分の発信に取り入れたい」「委員会や事業の広報に活かしたい」といった前向きな意見が多く寄せられ、広報への意識向上が確認できました。一方で、「継続的な取り組みが必要」「学びを組織全体で共有できる仕組みがあると活かしやすい」との声もあり、今後のフォローアップが課題として示唆されました。以上より、広報への関心と行動意欲を高める効果が認められ、今後の発信強化につながる例会となりました。

## 11月度例会

### 事業内容

出向による学びや成長を LOM全体で共有するため、出向者報告会を実施しました。代表出向者がテレフォンショッキング形式で対談し、経験や気づきを紹介しました。

日時: 2025年11月11日(火)18:30～20:30

場所: 高岡商工ビル 403・405



#### ① 出向者報告

代表出向者がテレフォンショッキング形式で委員長と対談し経験を共有し、他の出向者はスライドで紹介。

#### ② 涉外事業の報告

涉外事業についてはショート動画の発表と、初めて涉外事業に参加したメンバーへのインタビューを用いて報告しました。

### 検証・効果

事後アンケートでは、80%以上のメンバーが「今後出向してみたい」と回答し、さらに 97%以上が「出向した際には学びを LOMに積極的に共有したい」と回答しました。自由記述でも、出向が成長や新たな出会いにつながる機会であるとの意見が多く寄せられ、本例会が出向の価値を伝える機会として有効であったことが確認できました。

# 年間広報活動

## 事業内容

本年度は「対内広報によるプランディング向上」をテーマに、対内・対外の双方へ高岡 JCの魅力と価値を伝える広報活動を展開しました。単なる情報発信ではなく、“共感と参加につながる広報”を目指し、継続的な発信と改善を行いました。

### ■年間の主な取り組み

#### ① ショート動画を活用した対内広報の強化

事業の雰囲気やメンバーの想いが伝わる動画を継続発信し、参加意欲向上と活動理解の促進につなげました。アンケートでは91%以上が肯定的評価を示し、「行ってみたい」と感じさせる効果が確認できました。

～参考～

京都会議参加促進動画 URL <https://www.youtube.com/shorts/xpnh8ntY0y4>

11月例会参加促進動画 URL [https://www.youtube.com/shorts/zh\\_afe0Fds8](https://www.youtube.com/shorts/zh_afe0Fds8)



#### ② SNSを用いた対外発信のアップデート

Instagram・Facebook・公式LINEを活用し、事業案内・報告・メンバー紹介を発信。

今年度は告知や結果だけでなく、“背景・課題・目的・成果が伝わる投稿”にも取り組み、分かりやすさと共感の向上につながりました。

#### ③ 広報力向上のためのスキル共有( 2月度例会)

「好きから学ぶ広報の本質」をテーマに、メンバー自身が SNS・Canvaを使った発信に挑戦。

その後、発信に関わるメンバーが増え、“広報を委員会だけが担うのではなく、LOM全体で取り組む文化”的第一歩となりました。

#### ④ “人のストーリーを届ける広報 ”の実践( 11月度例会)

出向者の声や映像を発信し、経験の裏側にある学びを共有する広報を実施。

参加者の共感・興味・挑戦意欲につながり、「広報は人と人をつなぐ」という価値を実感できる取組となりました。

## ■成果

- ・広報による参加意欲の向上が可視化
- ・動画により短時間で伝わる発信が定着
- ・SNS発信に委員会外メンバーの参加が増加
- ・発信の「分かりやすさ」「共感」「巻き込み力」が向上
- ・広報を“役割”から“習慣・文化”へと一步前進



## 総務委員会



委員長  
**渡邊 栄吉**  
(株)渡辺板金工業

2025年度総務委員会は、メンバーが活動したいと思える仕組みをつくり、LOM全体の活性化を図ることを目的として、効率的な組織運営の推進と組織力向上に資する取り組みを、年間を通じて実施してまいりました。

組織運営の面では、Google ドライブおよびGoogle カレンダーの活用、議案上程ルールの整備、総務チェック体制の強化、過去5年分の議案アーカイブ化など、総務としての環境整備を進めてまいりました。これにより、資料の検索性や共有性が向上し、議案の品質や会議運営の効率性において一定の改善が見られました。

組織力向上の取り組みにおいては、バディー制度の導入と相関図の更新、不参加メンバーへの面談・アンケート、出欠アナウンスの強化などを実施しました。例会出席率については年間を通して上昇傾向にある一方で、目標として掲げた「11月例会の出席率80%」には到達することができず、引き続き改善の必要性を感じた一年となりました。

また、本年度の取り組みを通じて、情報共有方法の整理や一部メンバーへの連絡調整など、今後の改善点も明確になりました。これらは、次年度以降の高岡青年会議所がより円滑に活動するための重要な課題として、確実に引き継ぐべきものと認識しております。

総務委員会として取り組んだ本年度の活動は、組織の基盤づくりと関係構築の両面で一定の成果を上げつつ、同時に課題も浮き彫りになった一年でした。これらの学びと改善点を、来年度以降のさらなる組織運営の向上につなげていって頂きたいです。一年間、総務委員会の活動にご協力いただいた皆様に、そして一年間共に活動してくださった委員会メンバーに心より感謝申し上げます。

### 「1年間の取り組み」

- ・新年交流会開催(1月)
- ・例会開催(7月)
- ・事業報告会(12月)
- ・防災セミナー(12月)
- ・各種総会(2月、6月、8月、12月)





副委員長  
理事

**中西 祐貴**

(株)中西鉄工所

本年度は副委員長として、メンバーが活動したいと思う環境づくりに取り組みました。会議運営や情報共有の改善を通じ、参加しやすい仕組みづくりの重要性を実感した年でした。



幹事  
**寺崎 友治**

寺崎工業(株)

今年度はアジェンダシステムの移行や各種システム面で総務委員会として会員の活動を支えたほか、55周年記念祝賀会や各種例会の演出に関わりました。



幹事

**木下 雄内**

山本毅法律事務所

総務委員会として、ドッヂビーを行った月度例会の設えを始めとして様々な活動に携わらせていただきました。2024年度入会のためほとんどのことが初めてでしたが、各関係者や他のJCメンバーの皆様の方のおかげで、多くのことを学ぶことができてとても感謝しております。



理事  
**内田 達久**

Ryugi

副会長として富山ブロックへ出向し、各OMと連携して事業を推進した一年でした。卒業年度に最後の挑戦ができたことは大きな財産であり、多くの学びと仲間に恵まれたことに深く感謝しています。



委員  
**桶川 恭介**

(株)大重亭

参加機会は限られましたが、仲間の活動に励まされる一年でした。



委員  
**中野 真成**

(株)新設計建築事務所

仕事の都合がつかず、なかなか事業に参加することはできませんでしたが、できる限りの参加はできたと思います。ありがとうございました。



委員  
**牧野 高人**

(株)FPライフデザイン

あまり参加できませんでしたが、参加させていただいた際は多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。



委員  
**高橋 彩**

EVERISS.

出席できた場面では、仲間との交流がとても良い刺激になりました。

## 7月度例会

### 事業内容

高岡JCの運動活動の効果を最大限に発揮していくには、より強固な組織に成長しなければなりません。そのためにも委員会やメンバー間に協力し合えることが重要です。メンバーが委員会の垣根を超えたメンバー同士の信頼関係をさらに高めていく機会を創出しました。

日時: 2025年7月1日(火)18:30~20:30

場所: 高岡市万葉スポーツセンター

第一部: スポーツを活用したチームビルディングの効果を学ぶ  
肩書きや年次を越えて“同じチームの仲間”として関わり、普段話さない人とも自然に声をかけ合い、笑い合える関係が生まれることこそ、スポーツならではのチームビルディングと学びました。

第二部: ドッヂビー大会

第一部で学んだことをドッヂビーというスポーツを通じて実践し、言語／非言語を問わず、他のメンバーとコミュニケーションを取ることができ、普段関わることのないメンバーと交流することができました。



### 検証・効果

「委員会の垣根を超えたメンバー同士の関係性は深まりましたか」との回答が 98.1%  
スポーツがチームビルディングに適していることや、スポーツの持つ有益性について学ぶことができたものといえ、実際にドッヂビーというスポーツを行ったことがそれらの理解に極めて有用であったといえます

## 効率的な組織運営

### 事業内容

組織運営の効率化においては、Googleドライブやカレンダーを活用した情報共有体制の確立、議案上程ルールの整備と運用強化、総務チェック体制の見直し、さらには過去 5年分の議案アーカイブの移行と再構築など、LOM全体の“動きやすさ”を高める環境整備を行いました。これにより、資料の検索性や共有性が大幅に向上し、議案質の安定化、会議運営の効率化など、多方面で効果が見られました。

#### 【総務チェック】

総務チェック表を元に、プログラム及び AIを用いた総務チェックを作成し、運用を行いました。総務チェックでは議案のアドレスを入力すれば非推奨の表現のチェックや、AIを用いた内容のチェックを自動的に実施できるようになりました。



### 検証・効果

更新した情報共有ツール (Googleドライブ、カレンダー)を使用することで活動しやすくなりましたか」との回答が理事 100%、フロアーメンバー 83.3%

組織運営アップデートについて、「利便性の向上」「作業効率の改善」を評価する声が多く寄せられました。

# 組織力向上推進

## 事業内容

青年会議所運動を最大化していくためには、組織力を高めていくことが重要であり、組織全体が一体感をもって取り組んでいくことで、より高い効果を得ることができます。そのために、メンバー間のつながりを強化するための取り組みを行いました。

### ①バディー制度

バディー制度とは、2人1組(または少人数グループ)でお互いにサポートし合いながら活動に取り組む仕組みです。企業の研修制度などでも用いられ、モチベーション維持や離脱防止に役立ちました。メンバー間の相互サポートを強化し、組織の一体感を高めるための仕組みです。これにより、活動への参加率向上・モチベーションの維持・新しいつながりの構築を促進しました。

### ②相関図

2025年度では2024年度版をベースにより良い形にアップデートしました。高岡青年会議所の相関図に、バディー制度の組み合わせにも活用しました。

メンバーとメンバーを繋ぐことで、スムーズなサポート体制を築くことができ、組織内の知識共有や成長の機会が増えます。また、異なる委員会同士でバディーを組むことで、横のつながりが強化され、全体の一体感や協力関係の向上にもつながりました。



### ③メンバーが参加しない原因の究明

参加できない理由をメンバーに聞き取り調査しました。聞き取りした理由を検証し、そのメンバーに対してより良い方向から、アプローチを行い、参加促進していきました。2025年1~3月の事業不参加メンバーに聞き取り調査を行い、「なぜ参加しないのか?」を明確しました。



## <成果>

- ・相関図作成や不参加理由の把握により、現状理解の土台は整った
- ・バディー制度により、一定のつながり意識が生まれた
- ・参加促進の「きっかけづくり」は行えた

## <課題>

- ・情報を活かしきれず、参加率向上に繋げられなかった
- ・参加率が低いメンバーには連絡すら届かず、仕組みの限界があった
- ・メンバー心理に配慮した設計が不足



# 新入会員紹介



上野 拓生

上野建設

限られた参加の中でも温かく迎えていただきありがとうございました。  
次年度は積極的に顔を出して学びとつながりを広げていきます。



橋口 純平

株アフレックス

今年は入会年度ということで、JCとは何かを考えたり一つ一つ試行錯誤で取り組んだ1年でした。来年以降は自分高岡という街やJCに貢献できる人材となり飛躍いたします！



米原 孝騎

ワイケイディ株

来年はさらに頑張ります！



小園 蓮

株エムズ

これまで思うように活動へ参加できず、心苦しく感じておりますが、皆様の成果を拝見し、高岡への想いをさらに強くいたしました。  
これからも一丸となって、高岡の未来のために頑張っていきたいです。



高田 万里恵

高田会計事務所

JC活動一年目はすべてが新鮮で、多くの学びを得た一年でした。特に12月度例会の準備では、仲間と協力しながら行動する喜びを実感しました。先輩方にも多くのご支援をいただき、心より感謝しております。今後も積極的に挑戦していきたいです。



山本 健太郎

株NSK商事

わずかな参加でも、JCのエネルギーに触れて心が動きました。  
次年度は遠慮せず全力で飛び込み、自分をもっと高めます！



岡林 由美

株ワールドサービ

ス

入会してまだ慣れていない部分も多いですが、12月度例会のアトラクション準備に関わっています。まずはできる範囲のところから取り組み、徐々に活動に馴染んでいけたらと思います。



篠田 真由美

日本生命保険相互

会社

短い期間で、たくさんの貴重な出会いと経験をさせていただきました。仕事が忙しくなかなか参加できず、もう少し携われたら良かったなど悔いもありますが、成功に向け皆で1つのことを作り上げることで学ぶことも多かったです。ありがとうございました。



賛助会員 本吉 謙

とやま生活協同

組合

参加機会は少なかったですが、その中でも多くの刺激をいただきました。  
来年はもっと関わりを増やして成長につなげたいです。



賛助会員 宮崎 貴充

HaM合同会社

今年度については、期間も浅く参加もできていないため特段振り返ることははないですが、高岡市の安定した未来に向けて、微力ながらもできることを行なっていきたいと思います。



植野 明日美

あすみ行政書士事

務所

ありがとうございました。



安原 空哉

あすらく不動産株

あまり参加出来なかったです。



賛助会員 車 凌太

ジブラルタ生命保

険株

今年入会させていただき様々な方との出会い、学びを得ることができました。ありがとうございました。

# 年間活動一覧

1月

## 例会・会務報告

- 1月6日(月)新旧合同理事会
- 8日(水)第1回正副会議
- 11日(土)新年祝賀会・新年交流会
- 14日(火)第1回スタッフ会議
- 17日(金)第2回財務規則財務審査会議
- 20日(月)委員長会議
- 23日(木)~25日(土)京都会議
- 28日(火)第1回理事会

2月

## 例会・会務報告

- 2月3日(月)第2回正副会議
- 4日(火)2月度例会
- 8日(土)富山ブロック新年会
- 10日(火)第2回スタッフ会議
- 13日(木)第2回財務規則審議会議
- 17日(月)第2回委員長会議
- 19日(水)定期総会
- 25日(火)第2回理事会
- 27日(水)シニアクラブ総会

3月

## 例会・会務報告

- 3月3日(月)正副会議
- 4日(火)3月度例会
- 10日(月)第3回スタッフ会議
- 13日(水)第3回財務規則審査会議
- 14日(木)第一回ビジョン会議
- 17日(月)第3回委員長会議
- 23日(土)プロ長公式訪問
- 26日(火)第3回理事会・55周年運営会議
- 26日(水)アカデミーオープン委員会
- 31日(月)第4回正副会議

4月

## 例会・会務報告

- 4月1日(月)4月度定例会
- 5日(火)じゃがいも理事長杯
- 7日(月)第4回スタッフ会議
- 10日(月)第4回財務規則審査会議
- 14日(月)第4回委員長会議
- 19日(土)~5月5日(月)瑞龍寺ライトアップ
- 20日(日)新川青年会議55周年記念式典
- 22日(月)第4回理事会・55周年運営会議
- 24日(木)55周年全体会議
- 28日(火)第5回正副会議

5月

## 例会・会務報告

- 5月9日(金)~11日(日)大邱寿城へ公式訪問
- 11日(日)Cカップ
- 10日(金)第2回会員研修事業
- 12日(月)第5回スタッフ会議
- 13日(火)大回講師育成プログラム
- 15日(木)第5回財務規則審査会議
- 17日(土)ブロック野球大会
- 19日(月)第5回委員長会議
- 26日(水)高岡青年コミュニティ会議総会
- 27日(火)第5回理事会・55周年運営会議
- 24日(金)学校訪問プログラム
- 28日(水)会頭公式訪問
- 31日(土)55周年記念式典

6月

## 例会・会務報告

- 6月2日(月)第6回正副会議
- 7日(土)~8日(日)アルミ缶回収事業
- 8日(日)わんぱく相撲高岡場所
- 9日(火)第6回スタッフ会議
- 12日(木)~15日ASPACモングリア会議
- 12日(木)第6回財務規則審査会議
- 16日(月)第6回委員長会議
- 22日(日)わんぱく相撲ブロック場所高岡大会
- 24日(火)第6回理事会
- 26日(木)中間監査
- 30日(月)第7回正副会議

7月

## 例会・会務報告

- 7月1日(火)7月度定例会
- 4日(金)~6日(日)全国城下町シンポジウム
- 5日(土)雨晴海岸清掃
- 7日(月)第7回スタッフ会議
- 8日(火)第2回講師育成プログラム
- 10日(木)財務規則審査会議
- 14日(月)第7回委員長会議
- 15日(火)まちづくり事業野村小学校出前講座
- 16日(水)第2回学校訪問プログラム@高岡龍谷高校
- 18日(金)~20日(日)サマーコンファレンス開催@横浜
- 22日(火)第7回理事会
- 24日(水)高岡青年コミュニティ会議交流事業
- 28日(月)第8回正副会議

8月

## 例会・会務報告

- 8月3日(日)高岡古城公園清掃
- 4日(月)スタッフ会議
- 5日(火)第3回ビジョン策定会議
- 7日(木)財務規則審査会議
- 9日(土)~10日(日)わんぱく相撲全国大会(男子)  
じゃがいもシニア会長杯
- 18日(月)第8回委員長会議
- 19日(火)臨時総会・55年記念事業説明会
- 22日(金)3LOM合同異業種交流会
- 27日(火)第8回理事会
- 30日(土)55周年記念事業@古城公園

9月

## 例会・会務報告

- 9月1日(月)第9回正副会議
- 8日(火)第9回スタッフ会議
- 7日(日)ブロック大会@小矢部
- 11日(木)財務規則審査会議
- 13日~15日(日)瑞龍寺ライトアップ
- 16日(月)第9回委員長会議
- 17日(水)第3回学校訪問プログラム@龍谷高校
- 19日(金)~21日(日)大邱寿城受け入れ
- 19日(日)わんぱく相撲女子全国大会女子受け入れ
- 23日(金)まちづくり事業@イオン高岡
- 24日(水)第9回理事会

10月

## 例会・会務報告

- 10月4日(土)~5日(日)高岡万葉まつり
- 6日(月)第10回正副会議
- 7日(火)10月度例会
- 9日(木)~12日(日)全国大会@佐賀
- 14日(火)第10回スタッフ会議
- 16日(木)財務規則審査会議
- 20日(月)第10回委員長会議
- 25日(土)じゃがいもシニア会長杯
- 28日(火)第10回理事会
- 29日(水)第4回学校訪問プログラム
- 31日(金)第4回ビジョン会議

11月

## 例会・会務報告

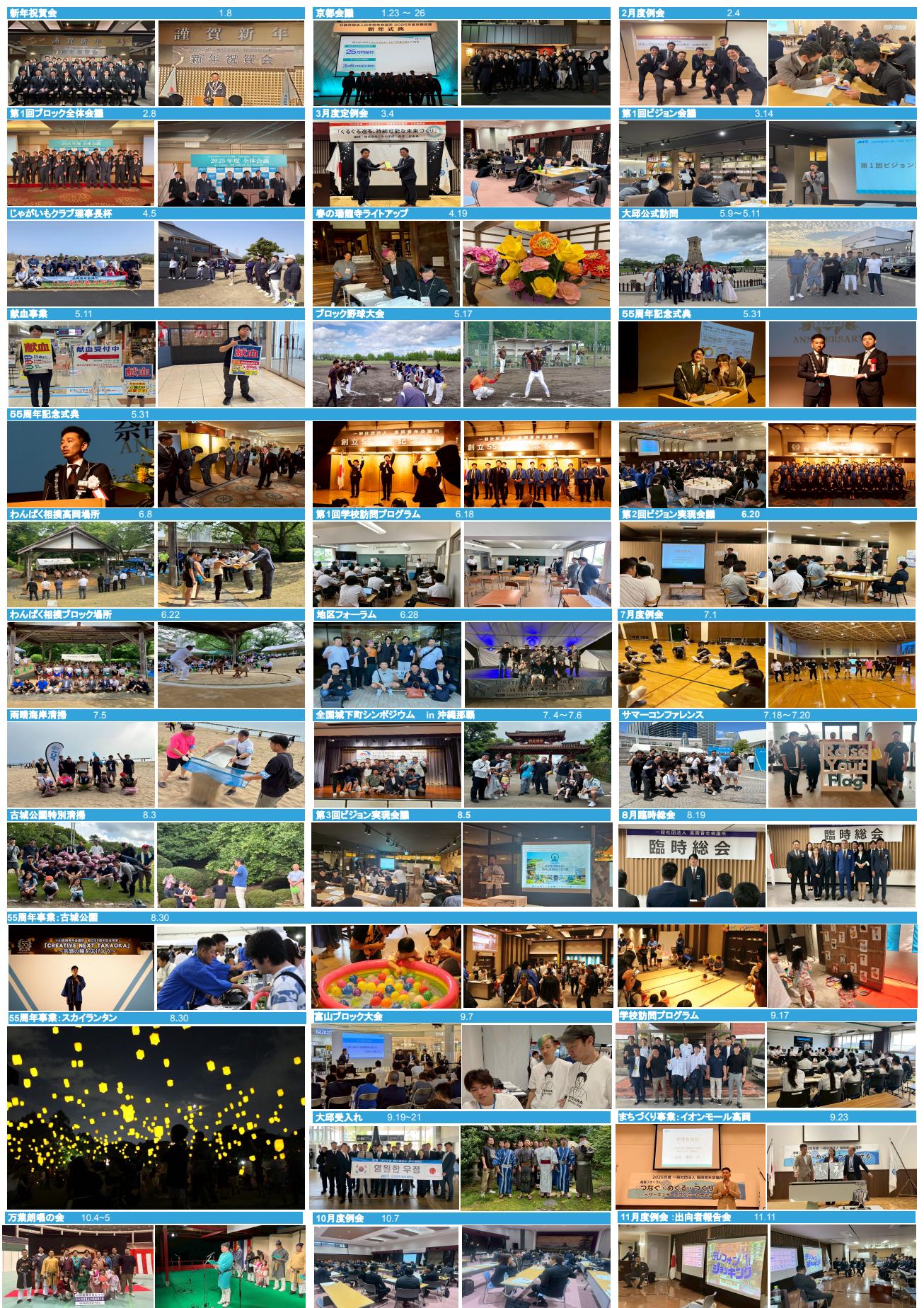
- 11月4日(火)~8日(土)世界会議ユニス大会
- 5日(水)第11回正副会議
- 9日(日)第11回スタッフ会議
- 11日(火)11月度例会
- 13日(木)財務規則審査会議
- 15日(土)富山ブロック卒業式
- 16日(日)献血事業@イオンモール高岡
- 18日(月)第11回委員長会議
- 25日(火)第11回理事会

12月

## 例会・会務報告

- 12月1日(月)第12回正副会議
- 2日(火)事業報告会・12月度例会
- 8日(月)第12回スタッフ会議
- 10日(水)臨時総会・防災セミナー
- 11日(木)財務審査会議
- 15日(月)第12回委員長会議
- 23日(火)第12回理事会

# 活動写真



発行 2025年12月2日

発行人 奈部 潤弥

発行所 一般社団法人高岡青年会議所

住 所 高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル6階 TEL:0766-21-2534／FAX:0766-21-2579

編集 総務委員会

責任者／畠山 直聰 編集長／渡邊 栄吉

編集者／中西 祐貴・寺崎 友治・木下 雄内・内田 達久

